



錦城高校新聞

題字 井口 文章
再刊 第464号
印刷・発行
錦城高等学校新聞委員会
編集室 2024

みんなでつくる
錦城高校新聞

一面…まもなく任期を終える生徒会役員に取材
球技大会、開催迫る
二面…新紙幣の顔、津田梅子特集!!
小平と梅子の関係性をとほ?

よりよい錦城にしていくために

中央委員会取材 公約の達成度はいかに



1年間学校をリードしてきた生徒会役員5人
【前列】浦山さん(左)、山田さん(右)
【後列】中村さん(左)、新井さん(中央)、峯村さん(右)

4月から6か月が経つが、今期生徒会の任期がまもなく終了する。今号では、任期について、生徒会メンバーの5人に「達成度」と共に振り返ってもらった。

新しいことに挑戦した1年
生徒会長の山田拓仁さん(3E)は、今期を「新しいことに挑戦することが多い1年でした」と振り返った。具体的にはボランティア活動への参加を挙げ、特にHR委員会の活動は例年以上に活発化したと強調した。また、生徒会内部では

デジタル化を進めたことで、動画で会報を出すなど初の試みに多く挑戦したという。公約について達成度を聞くと、貸し傘について「一時は100%まで行きましたが今は20%になった感じがです」と話す。現在、貸し傘が戻ってこないという事態になっており、

継続に難があるという評価。HR委員会の活性化の達成度は70%くらいだと語る山田さん。今後、HR委員会がさらに自発的に活動するようにがんばらなければならないと話し、「もう頑張ってほしいです」と思いを口にした。

難航の中でも実現に向け動く
今回の任期を、「とても忙しい1年でした」と語ったのは、生徒会副会長の峯村梅花さん(2D)。後夜祭の規模の拡大により先生方へのアポ取りが大変になったこと、公約の書類の処理が思うように進まなかったことが原因だと振り返る。良かった点としてはショートソックスを導入できたことと、中央委員としてやった甲斐があったなと思いましたが」と笑顔を見せた。

「今ある決まりを守って」
監査委員長の浦山一花さん(3J)は、「新入生に向けてルールを丁寧に説明する」という公約を掲げていた。公約の達成度は87%で、実際に新入生に向けてルールを説明する集会を行うことはできたが、その後の生徒の様子をアンケートで取ってもよかったと反省した。任期を振り返って、「人に頼ったり頼られたりしながら学校のために頑張ることができました」と話した。また、錦城生に向けて「自分の足を引っ張るようなことにならないよう、良い意味でルールが変わるように今ある決まりを守ってほしいです」と呼びかけた。

快過に過ぎる学校づくりを
副監査委員長の新井陽奈さん(2A)は、今期の公約に「校内美化」を掲げていた。新井さんは、達成度を50%と評価。「別の仕事との両立の観点から見通しが甘かった部分」を反省したが、後輩に向けて「中央委員会役員を持つという事は一筋縄ではいかないですが、様々な苦難を乗り越えることで人

夢を届ける
日本全国の高校で不要になった文房具を集めて、東南アジアの子供たちの元へ届けるプロジェクト。ラーニングスペースにて、文房具の回収が行われている。活動に参加している奥田芽依さん(3J)によると、期間終了の目安は中間考査の後だそう。また、同じくプロジェクトのメンバーである長谷川結子さん(3J)は「小さなことでも力になれるということを知って貰えたらと思います」と生徒に呼びかけた。

錦城祭来場者アンケート ランキング発表

2Eコーヒーカップが1位、生物部は連覇

クラス企画	企画名	クラス
1位	コーヒーカップ	2E
2位	バズライトイヤーのアストロブラスター	2K
3位	池神製麺	1D
4位	添花一品やまなからあげ	1E
5位	メイドカフェREVERSAL	1H
6位	レイジーハウス	1I
7位	変な教室〜この教室、何かが変ですよ〜	2D
8位	American Tea House	1F
9位	モンスターズ・インク!!	2J
10位	プーさんのハニーハント	2H

委員会・部活動企画	
1位	あいどろず・おぶ・きんじょー!
2位	ハナノシズクノウタ
3位	どんびしゃり
4位	サルボテ
5位	K-ON 文化祭ライブ
6位	錦城ロードショー
7位	タンプリング
8位	吹十好〜すとらいいく〜
9位	KBBドリルステージショー
10位	音の学園ーエデンー

9月14日(土)~(日)に開催された錦城祭にて、「クラス企画」、「委員会・部活動企画」、「クラスTシャツ」の3部門で、来場者向けのアンケートが行われました。その投票結果を、上位10位までのランキング形式でお届けします。(by 錦城祭実行委員会本部)

クラスTシャツ	
1位	1D
1位	2K
3位	2E
4位	1E
4位	1F
4位	1H
7位	2D
8位	2B
9位	2G
9位	2J



球技大会がもうすぐ開幕

球大実行委員長 秋に向けて意気込む

10月にある球技大会へ向けて、球技大会実行委員会では着々と準備が進んでいる。その様子について、球技大会実行委員長の北條太悠さん(2E)に話を聞いた。

今回の球技大会は、1・2年生のみの新体制で運営を進めることになる。北條さんによると、実行委員会は本番の仕

事がとても多い一方で、「人数は少ないですが、協力して頑張りたいです」と意気込みを見せた。

いままでの球技大会でも、忘れ物や落とし物が多かったり、禁止されている中庭での練習が見られたりすることを踏まえ、「しっかりと注意していきたいです」と語った。

文化祭の裏で...



↑段ボールとゴミ袋が混在するなど、劣悪な分別状況がうかがえる文化祭後のゴミ収集所の様子。(写真:学校提供)
分別のルールに従い、きれいな錦城にしていきたい。

代議委員委員長・副委員長 校長と意見交換

9月27日(金)の放課後に、校長室で代議委員長の志村優さん(3L)と副議長の太田絆貴さん(3L)が校長先生に今期代議委員会の作成した議案書を見せ、意見を交わした。この議案書は、代議委員会が生徒の要望を取りまとめ、生徒アンケートや他校比較などをしながら検討してきたものだ。

今回の議案書の内容は、ラーニングスペースなどでのイヤホンの使用、制服併用期間の撤廃、冬季プレザー着用義務の撤廃、女子ベスト着用の任意化、男女別のセーターを誰でも着られるようにする、食堂の電子レンジ設置、ヘアクリップ使用だった。校長先生は一人の教員として、と前置きしつつも各案について具体的に感想を話してくれた。太田さんは、校長先生が思ったより肯定的で嬉しかったようで、「これからの可能性を感じられました」と振り返った。とはいえ現在、代議委員会がどこまで議案書をまとめているかを知らない、という生徒の声もある。代議委員会の今後の活動に期待が高まる。(風)

むらさき草

51キログラムー2022年に農林水産省が発表した日本人の一人当たりの年間コメ消費量は、1962年には、この2倍以上の年間コメ消費量だ。1962年には、この2倍以上の年間コメ消費量だ。1962年には、この2倍以上の年間コメ消費量だ。

「食育に関する意識調査」。私も寝坊して、あわてて朝食抜きのときがある。心当たりのある錦城生も多いだろう。人間の脳は規則正しく1日3回食事をとらないと糖が不足し、十分な活動ができない構造になっていると言われる(2024『2024最新生活ハンドブック』第一学習社)。確かに、朝食を抜いた日の1限がサッカードだったときは、そのあとずっとおなかが鳴りっぱなしで4限が終わるまで授業に集中どころではなかった。▼ところで、朝食でお勧めなのが、コメである。なぜパンではなくコメなのか。まずコメが粒食だからだ。粒食とは、穀物を粉にせず食(こ)で、粉にして食べる粉食、例えばパンよりも噛む回数が多くなる。噛むことには、肥満の予防や免疫系の強化といったメリットが多い(無印良品の「良品研究所」)。また、私はたくあんなどの漬物が好きだが、やはりコメがあつてこそそのもの。コメを主食とする日本の和食は、ユネスコの無形文化遺産にも登録されている。だが、高校生になってからスーパーにほとんど行ったことがない私でも知っているほど、コメの価格が高騰している。たくあんだけポリポリするのも悪くはないが、やはり少し味気ない。コメ不足が騒がれた今だからこそ改めて、健康な生活を送り、和食を守るためにコメの消費について考え直してみたい。

特集 女子高等教育を日本に広めた先駆者 津田梅子

実は小平とも深い関わりが 津田塾大学津田梅子資料室を取材

2024年7月3日より導入された新紙幣。5000円札には小平にある津田塾大学の前身となる女子英学塾を設立するなど小平と関連のある津田梅子が採用された。今号では津田塾大学内の津田梅子資料室と津田梅子の墓を訪れた様子をお届けする。

編集委員は、8月30日(金)に西武国分寺線練馬の台駅から徒歩8分、小平市津田町にある津田塾大学の津田梅子資料室を訪ねた。ここでは、資料室の中田友紀さんに案内してもらった情報をもとに津田梅子の生涯を迫る。

津田梅子は1864年12

ある日、梅子に転機が訪れる。岩倉使節団の女子留学生



取材に応じていただいた

性的社会的地位が低いこと、また女性たちがそのことに對する問題意識が低いことに驚いたという。

2度目の留学へ

1889年、梅子は再びアメリカに渡った。最初の留学時に世話になったモリス夫人のほかに、プリンマー大学への入学が許可された。女性でも文理を問わず学問を追求してよいという環境だったプリンマー大学では生物学を専攻した梅子。モーガン博士との共同執筆で作成したカエル

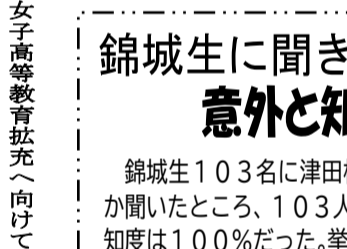
梅子の生涯をひもとく貴重な資料がたくさん



資料室に展示されている新5000円札 津田塾大学には3番目のお札が贈られた

として帯同する話が津田家に舞い込んだ。津田家では当初、姉の琴子を応募させるつもりだったが、琴子はこれを拒否した。その後、仙から話を聞いた梅子は快く留学を受け入れたそう。こうして当時6歳だった梅子は1871年に日本を出発し、翌1872年にアメリカへと渡った。アメリカではワシントンDCのチャールズ・ランマン夫妻のもとに預けられた梅子。高校レベルの教育を受けたのち、渡米から約11年後の1882年に17歳で帰国した。

帰国後はアメリカで受けた教育経験を活かして20歳で華族女学校(現学習院大学)に英語教員として勤めるようになった。日本に帰ってきてから梅子は、日本における女



現在の津田塾大学の校舎

女子高等教育拡充へ向けて日本に戻ってきた梅子は1900年、女子英学塾を開設した。授業の実施が困難になってしまった状況の中、一人の女性が立ち上がり、彼女の名はアナ・ハーツホーン。梅子がプリンマー大学留学中から交流のあったハーツホーンは病気で動けなくなった梅子に代わって震災後すぐ渡米すると、女子英学塾復興に向けて募金活動を開始した。アメリカを中心に「日本の女性たちのために助けよう」と多くの人が立ち上がり、50万ドルの募金を集めた。募金の甲斐もあって女子英学塾は1年後に仮校舎で授業が再開された。

1923年には関東大震災が発生。女子英学塾は地震に伴う火災の影響で焼失してしまっ

2023年7月20日発行の第423号男女間の無意識の思い込みであるアンコンシャスバイアスという言葉を知っている錦城生は11.8%だった。

この紙面の中で、小平市役所の村田さんからの「高校生のみんなには社会が抱えている男女間の問題について少しでも良いので知っておいてほしいと思います」というメッセージがある。ぜひ身の回りのアンコンシャス・バイアスや男女共同参画について考えてみてほしい。

今後企画していくので、話題提供や一緒に取材したい人も募集します。(瑞)

小平市主催 津田梅子関連企画 『市長と語る男女共同参画について』に同行取材

7月29日(月)、津田塾大学にて小平市役所主催の『市民と市長の対話集会タウンミーティング』が行われた。津田塾大学を開設した津田梅子が新紙幣の顔に選ばれたことがきっかけとなつてこの度、小平市が津田塾大学見学会とタウンミーティングを行うことになったそう。新紙幣発行に合わせて、市長と市民が津田梅子のお墓を見学し、小平市についての意見交換をするイ

イベントとして企画された。市役所に取材申し込みをするに快く了解していただいたので、取材班も当日参加させてもらった。

当日は、小林洋子市長とともに津田塾大学に参加者が集まった。お互いに顔を合わせて対話することで市政を身近に感じてもらうことを目的に、今回のタウンミーティングは「男女共同参画」「女性の活躍」をテーマとして開催された。2009年4月に男女共同参画推進条例を施行した小平市は、人々が性別に関係なく互いに支え合う社会の実

現を目指している。小林市長は女性市長として特にこの条例に力を入れているようで、様々な取り組みを行っている。例えば男性育休の推進で、令和5年度には子供のいる男性の約62.5%が育休を取ったという。参加した人からは、

男女共同社会参画の知名度を上げるためにYouTubeへ説明動画を投稿する案や、男性の育休に関する意見、家事における男女共同参画の疑問などが市長に寄せられた。実際に市民の男女共同参画に対する意識が高まっているようだ。

小林市長は、女性市長として男女共同参画の旗振り役を担うことに決断した。これに市民一人一人の思い込みを払拭していく、小学生など若い人たちにも意識を持ってもらうために活動したい、と意気込みを見せた。

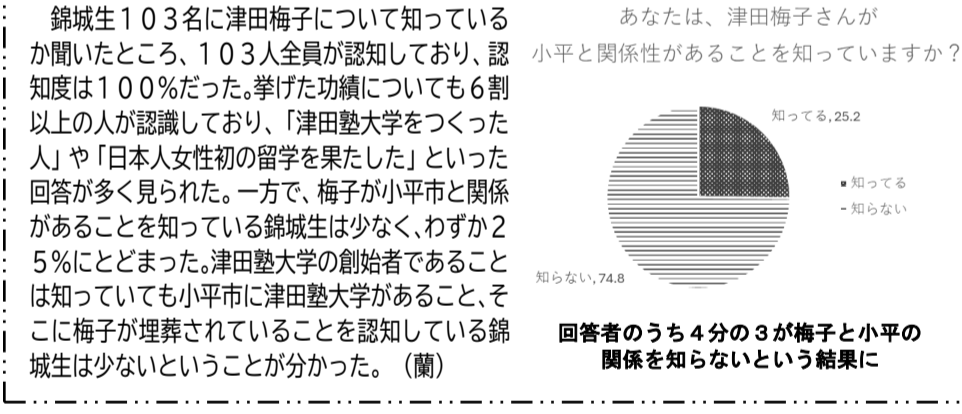
当初は麹町一丁目(現九段下付近)に校舎があり、その後生徒数の増加に伴って皇居西側の五番町校舎に移った。教師として教壇に立った梅子はしばしば英語教育が最終目的ではないと語ることにあつたという。英語だけでなく日本人、女性としての基本も忘れてはならないと考えた梅子。そのため、女子英学塾では英語の授業だけではなく、裁縫や国文学書の教育を行うこともあつた。1917年、52歳になった梅子は病に倒れそのまま長代理に実務を引き継いだ。その6年後の

病に苦しみながらも療養を続けていた梅子は1929年8月16日に64歳で息を引き取った。日本における女子高等教育のパイオニアとして挑戦を続けてきた梅子の功績が評価され、今年7月から発行が開始された新5000円札の顔として採用された。

女子英学塾は1931年に小平の地に新校舎が建てられた。新校舎設置場所については病気で実務を引退した梅子に代わって女子英学塾社員会及び校地拡張委員会が選定し、その後移転が行われた。梅子自身は1929年に亡くなつており、1931年完成の小平校舎を見ることは叶わなかった。しかし、新校舎落成時には墓地がつけられ、今もなお小平の地に眠っている。1933年には津田梅子の功績と名を残すことを目的として、女子英学塾は津田英学塾へと改称された。その後、19

津田梅子資料室、津田梅子の墓は共に事前予約をすることで見学できる。津田梅子について興味を持った人はぜひ、訪れてみてほしい。(蘭)

錦城生に聞きました!! 意外と知られていない梅子と小平の関わり



今号で特集した津田梅子「アンコンシャス・バイアス」は、2度の留学経験から日本における女性の地位の低さに衝撃を受け、津田塾大学の前身となる女子英学塾を開設するに尽力したことで知られている。錦城高校新聞でも、過去にジェンダーをテーマにした特集を組んだ紙面がある。直近では、昨年6月に小平市役所で行われた小平市男女共同参画週間に伴う展示会取材で

この紙面の中で、小平市役所の村田さんからの「高校生のみんなには社会が抱えている男女間の問題について少しでも良いので知っておいてほしいと思います」というメッセージがある。ぜひ身の回りのアンコンシャス・バイアスや男女共同参画について考えてみてほしい。

の意見が多く挙がり、錦城の生徒や先生方にも日常でバイアスを感じる人が少なからずいることがわかった。2023年6月に内閣府男女共同参画局が発表した、日本のジェンダーギャップ指数は0.647であり、これは146か国中125位と先進国の中でも最下位であると言われている。梅子が生きた明治時代には、現代よりもはるかにジェンダーのギャップが大きかったことだろう。

大会報告

- 野球部 対日大三 ●0対13
- 10月6日 令和6年度秋季東京都高等学校野球大会本大会1回戦 対創価高校 ○3対0
- 10月14日 2回戦
- 10月4日 合唱祭実行委員会
- 10月8日 図書委員会
- 10月11日 HR委員会
- 球技大会実行委員会 随時活動中

梅子の遺志を継ぐ小平市 大学敷地内には梅子のお墓も

女子英学塾は1931年に小平の地に新校舎が建てられた。新校舎設置場所については病気で実務を引退した梅子に代わって女子英学塾社員会及び校地拡張委員会が選定し、その後移転が行われた。梅子自身は1929年に亡くなつており、1931年完成の小平校舎を見ることは叶わなかった。しかし、新校舎落成時には墓地がつけられ、今もなお小平の地に眠っている。1933年には津田梅子の功績と名を残すことを目的として、女子英学塾は津田英学塾へと改称された。その後、19

津田梅子資料室、津田梅子の墓は共に事前予約をすることで見学できる。津田梅子について興味を持った人はぜひ、訪れてみてほしい。(蘭)